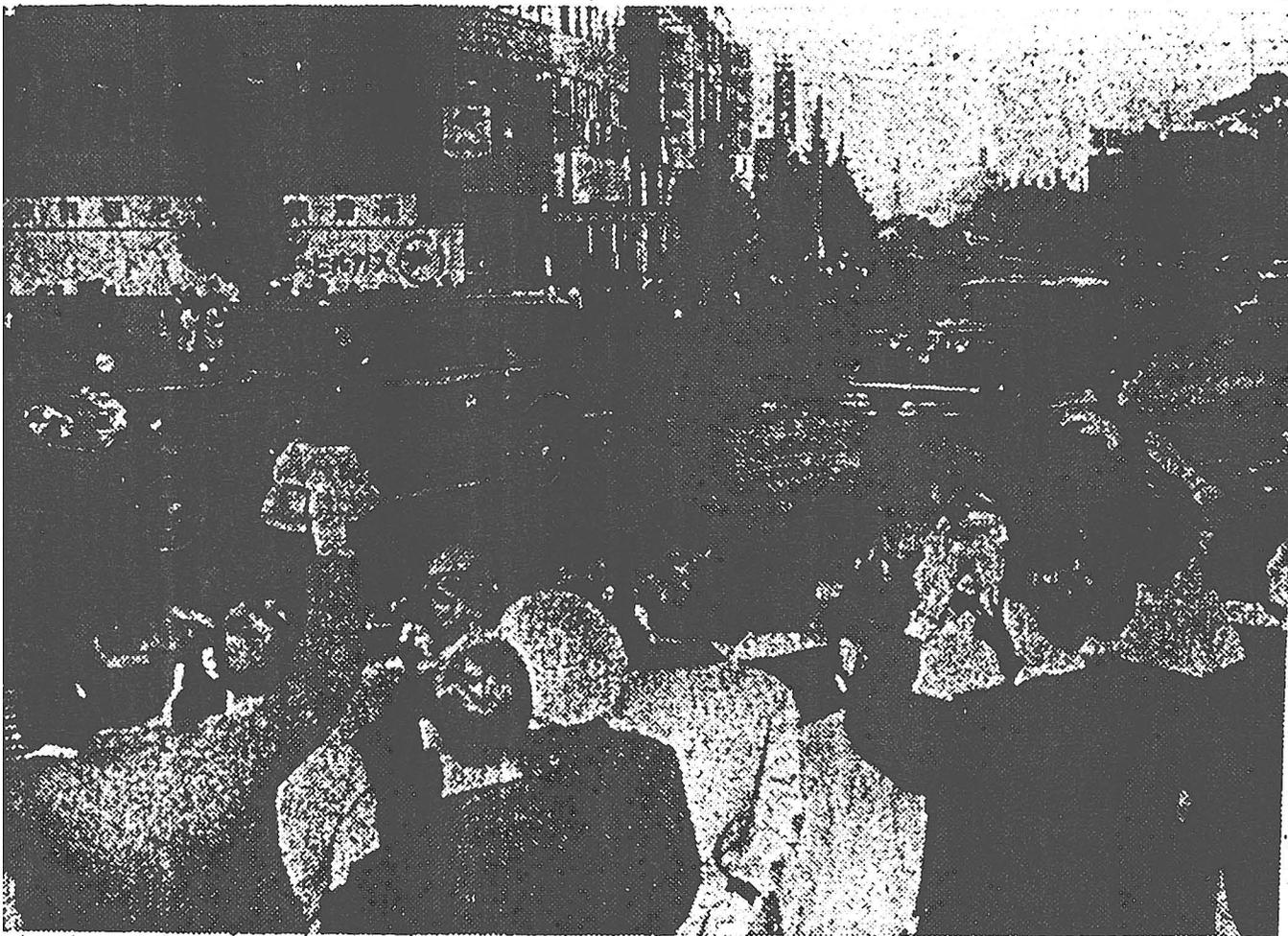


水俣病などおたずね

知事、県政の概要ご説明

天皇、皇后両陛下に随行した幸本一スルで天皇陛下に県民所得の状況一明申し上げた。このあと記者団と県知事は「宿舎のホテル・キャッ」と今後の県の努力目標などを語り説一会見、そのときの模様をこうい



熊本市花畑町を通過される両陛下のお車

つづきのよりに語った。

三十三年のご巡行のさいに松井前知事から県政の概要はご説明申し上げているので、私は重複することを避けて県民所得の現状を申し上げた。

松井前知事の努力で県内の産業は順調に伸びてはいるが、農業と他の産業との所得格差がひらきはじめたこと、農業の低所得をどうして引き上げるかが県政の当面する問題であることを申し上げた。工場誘致の機運を盛り上げ、誘致のための基礎条件を整備したいこと、また農業の生産性向上については経営の機械化、共同化、多角経営化、そして経営規模の拡大化にあること、これを助成する必要があることを申し上げた。また果樹や畜産、赤牛の肥育など成長部門に力を入れ、県民所得を全国の中間にまでは引きあげたいとのべた。陛下から「しっかりとやるように」との激励のお言葉をいただいた。

このあと陛下は①ことしの稲の作況はどうか②水俣病問題はどうなっているか③県の財政事情はどうか、などおたずねになった。作況については干ばつの被害は深刻だったが、水稲は昨年につく豊作が期待されるとお答えし、水俣病については昨年の騒ぎのことから現在までの経過をかいつまんでご説明申し上げた。そのさい新日窒水俣工場に浄化装置ができて患者の発生件数も減ってきたことや補償問題も解決の最終段階に入っていることを申し上げた。財政問題では三十六年度から赤字再建団体を脱却できるよきを説明した。